

ゴミと護美

よく、駅のクツ入れなどに「護美入れ」と書いてあるのを見かけますが、なかなかしやれた名をつけたものだと思われ、思わず口もとがほころぶことがあります。

わたしたちの住んでいる家庭や町を、いつもきれいにしておくためにはゴミ入れにゴミをすてて、ほかのところの美しさを護（まも）る必要があります。

世は大量消費時代

ところが、ちかごろ各家庭から出るゴミが目に見えてふえる一方で、どこにおいても、その処理に困っています。

ひと昔とちがって、今ではガスコンロで炊事をするので紙くずやダンボールなどをもちもできない、あきびんも引きとらない、かん詰のあきかんやくず鉄も引き取り手がない、それに加えて近ごろは「大量消費時代」とかで修ぜんとして使う人は少なく、使ったあとは捨ててしまう、いわゆる使い捨ての時代になったのです。

こうして、どうにもならなくなったゴミは、袋に入れて、車に積み、ひそかに人通りの少ない道ばたや山林などに捨てられます。一人が捨てると、つぎに通りかかった捨て場さがしのも、そこにすてると……という繰り返しでいつの間にか悪臭を放つゴミ捨て場となってしまう。このような場所が百カ所以上もあります。

町の護美（ゴミ）入れ

これでは家庭はきれいになっても町はきれいになりません。町にも、町のゴミ入れが必要で

現在、町では、上宿、下宿、横町柄員の四部落が特別清掃地区となつてゐるため、この地区のゴミ捨て場として、大宮神社うらに町営ゴミ捨て場を設けてあり、ここに捨てています。またこの近くの家庭でも、これを利用できるでしょう。しかし、そのほかの地域の人は、これは、決められた捨て場所がありません。

町では、いま各地区ごとにゴミ捨て場を設けるよう検討を始めています。これと同時に、隣接町村と共同でつくる「ゴミ処理施設」についても協議中です。みなさんのご家庭でも、これらの「町の護美入れ」ができるまでのあいだ、家庭で焼却できるものはこれを燃し、その他のものは穴にうめるなどの方法で処理して町をゴミから護（まも）ってください。



悪臭をはなつ、ゴミの山

国勢調査 パパ・ママ・ボクの名がならぶ

今年の10月1日には、全国いつせいに国勢調査が行なわれます。各家庭には、9月24日から、国勢調査の調査員がおうかがいして調査票への記入をお願いすることになっています。

この調査は1億4百万人にのぼると予想される日本の全人口を全国いつせいにもれなく調査し、教育、住宅、労働、環境衛生、地域開発、交通などの対策をたてる場合の資料とするものです。



第五回臨時議会

助産費一万円支給さまる

第五回の臨時議会が八月十九日に開かれ、国民健康保険条例の改正など五件が審議可決されました。

今回の議会は、主として国民健康保険の関係で開かれたもので、議決されたものは、つぎのとおりです。

▽ 国民健康保険条例の改正
九月一日から助産費五千元を一万円に、葬祭費三千円を七千円に、育児手当二千円を五千円に

それぞれ引上げて支給することに改正しました。

▽ 母子健康センター使用料条例の改正
国民健康保険で助産費が一万円支給されることになったので、母子センターの使用料も助産料を一万円に引き上げ、センター使用の妊産婦は、助産費の完全支給となりました。

このほか入所料は一日につき二百円を三百円に、給食費三百円を五百円に引き上げました。

▽ 国民健康保険特別会計の補正
助産費、葬祭費、育児費などで八十四万八千円を追加し総額は一億一千五百四十三万円となりました。

この日議会がおわったあと、議員さんがた全員で学校や、道路の建設現場の視察をしました。

神洲から、玉川小学校まで学校の工事現場三カ所、道路関係五カ所を視察した議員さんがたは猛暑の中で舗装工事をする建設課の職員などをねぎらいながら熱心に視察しました。



町道舗装工事現場視察の一行

町道の直営舗装工事

すでに6キロメートルを完成

町道の直営舗装工事は、本年度十歳を実施することを計画し、建設課土木係の手で実施してきましたが、八月末日現在で、すでに五千五百メートルを完成し、予定の半分以上を消化しました。

これらの工事は、実施した部落の人たちの用地提供（四割未満の道はばを四割にするための用地）

四月から八月までの五カ月間で、予定の五十割以上が完了したことは、予想以上の成果で、完成した部落の人たちの協力と、機械化された建設課の機動力によって実施されたものです。

ちはもとより、猛暑の中で汗を流した課員も、なおいっそうの努力をちかいかけて喜んでいきます。

今年完成した道路は別項のとおりですが、この分ではゆけば今年度中には予定の十歳を上げる工事ができるものと課員一同は喜んでいきます。

なお現在工事中の道路は、西蓮寺、捨木、浜の三カ所です。

県民の日論文募集

県民のみなさん、町などでは都会からの人口流出が、県民意識がうすれ、中には県民でいながら「私たちが都民が……」というふうな話をする人がふえていきます。

県民の日にならんで、県民意識を高めましょう。

町などでは都会からの人口流出が、県民意識がうすれ、中には県民でいながら「私たちが都民が……」というふうな話をする人がふえていきます。

県民の日にならんで、県民意識を高めましょう。

町などでは都会からの人口流出が、県民意識がうすれ、中には県民でいながら「私たちが都民が……」というふうな話をする人がふえていきます。

県民の日にならんで、県民意識を高めましょう。

国保税の改正

税額十二セントの増額

国民健康保険税の税率が決まりました。

国保税についての説明書（桃色のリーフレット）を各戸にお配りしてありますのでご理解いただけたと存じます。

医療費の増加が二四％も見込まれるので、国保の税額を一二％増額することになりました。

これは平均額のことなので、昭和四十四年と比べて昭和四十五年の所得の伸びが大きい場合には、保険税は高額になります。

昨年の保険税に比べて今年度の保険税が二倍にも三倍にもなったという場合は所得の伸びが原因です。すなわち昨年の所得額を繰りかえして下さい。ご不審の点は遠慮なくお問合わせの上、円滑な納税により国保の運営にご協力ください。

税金はみんなのために使われる

国や地方公共団体は、道路や住宅をつくらせたり、学校を建てたり生活に困っている人のめんどうをみたり、いろいろな仕事をしていきます。

このような仕事に使われるお金は、大部分が私たちの納めた税金でまかなわれています。

昭和四十五年度の国の一般会計予算は、約九割が税金です。

国民一人あたりの国税の負担額は約七千円とあります。

では、税金千円あたりの使いみちを見てみましょう。

本年度の予算ではつぎのように使われます。

▽国民の健康や生活を守るために百八十一円
▽住宅や道路など整備のため百七十七円
▽教育や科学技術振興のため
▽国土の防衛のため
▽地方財政の援助のため二百九円

秋の中の変動



見渡すかぎりの黄金の穂波……

いま、玉造町内の水田では取り入れがたけなわ、喜びのカマ音、バインダーの轟音が秋空に響いていま



写真は八月末日高須で

麻生地区農業改良普及所の調べによると、ことしの作柄は良好。昨年は台風と冷害にたたられ不作でしたが、ことしは豊作というところだ。

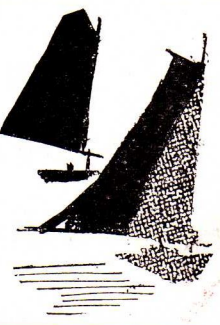
しかし、この収かくのようこびのかげに豊作だけではどうにもならない「農業の変動」があら

る米づくりへといま忙しい毎日が続いています。

町の米生産改善調整推進協議会では、良質米と品質改良のために奨励金を出すことを決め、変動ととりくんでいます。

県大会で準優勝

町代表の軟式庭球と弓道



八月二十一日から二十三日までの三日間に渡って行なわれた県民総合体育大会で町から出場した軟式庭球と弓道のチームが準優勝をかざりました。

●テニス
中野大二郎 宮本純 筒井文雄
宮本嘉夫 今井由也 中野和朗
助川隆朝 坂本行
●弓道
高野助右エ門 成島島 藤川良

すすむ検診事業

胃集団
検診
受診者は三六七人

毎年実施している胃 検診は早朝五時から行ない、胃 人は来年はそろってうけましよう。

4	3	2	1	要注意者内訳
飲食残渣	十二指腸部変形	胃下垂	切除胃	
1人	1人	8人	6人	

三才児の検診は、児童福祉法で決められ、だれもが受けなければならぬ、検診です。

なぞ、三才児が法で決められて
検診をするかというのは、この時
期が、脳の發育がもっとも盛んな
時で、脳の八〇割までが、この時
期に出来あがるといわれており、
自我の目覚めの第一初期になると
いわれている。

よく「三つ子の魂百まで」と言
われるのは、こんなところからき
ているわけです。

したがって、好奇心が大変強く
なを見ても「これなあに？」の
連発をするのもこのころにあたり
ます。

食珍会場で、採建部と支部の

木蘭が叫んでも、僕僕然や医師の白衣を見て「あのひとなにするの？」。「あのキカイはなあに？」とおびえ、検診に来たこども全体の約半数は、おかあさんに甘え、泣きわめき、歯科や内科の検診で

3才児 受診率 97%
検診

三才児検診で身長の測定。順番を待つ子が不安げに見ている。 研修所で

研修所で

平均以上の体位と健康

三才児検診と並んで、乳幼児の「乳幼児」が選ばれることは、みな一斉検診が七月中に行なわれ、赤さんご承知のとおりです。

ちゃんの発育状況を調べました。
この検査によると、身長、体重

消防の夏期訓練

胸囲、頭囲とも、全体の九六割までが、平均を上まわる発育をしめし、特別発育不良の乳幼児は見られなく「健康なまじつくりの赤ちゃん」ぶりを立証しました。

八月二十六日に、消防の夏期訓練が、玉造中学校で実施され、団

赤ちゃんの検診では、三才児の長をはじめとする百人の団員が基
本訓練にはげみました。この日は気温三十三度の猛暑で
したが、団員たちは、制服制帽に
身を固め、行進、操法訓練を続け
ました。

夏に行なわれた検診のため、最も多かった疾病は湿疹が二十四人で、これは、ほとんどがアセモのこじれによるもので、心配する病気もなかったため、赤ちゃんを抱いたお母さんがたもホッとした表情を見せていました。

ことし、この検診をうけた赤ちゃんは百六十二人になりますが、毎年、この中から町の「健康優良

この日の訓練では、中上級団員初級団員に分散して行なわれ、暑さの中を始終きびきびと励みまし

秋に入ると「秋の火災予防運動」なども始まり、火災防止をねがって操法訓練、防火宣伝、点検などを実施しますが、みなさん、ひとりひとりの注意と警戒を、おねがいします。

新米どこに保管する
指定倉庫パンク前



倉庫につまれた古米。玉造農協で

本格的な収穫期をむかえ、新米の出荷がすぐとなつていますが、いま、その新米を収容する倉庫が不足しており、関係者は頭をいためています。

玉造町は、県南の早場米地帯のため、いま稲の取り入れが盛んですが、こしの新米をどこに保管するかが問題になっていこす。

うず高く積まれた古米や古古米それに、長雨にたたられ品質が落ちたためビール会社を引き取らないので政府に売り渡されたビール

大麦で、政府指定倉庫は新米を入れる前からバンク寸前、中には、新米どころか麦の倉庫にも不自由をかこっている農協もあるほどです。

政府に売り渡す米や麦を保管する「政府指定倉庫」は、町内に、玉造町、手賀、立花第一、玉川農協をはじめ、業者倉庫五、営業倉庫一があり、これらの倉庫で約十四万俵が貯蔵できますが、すでに昭和四十二年からの古米や麦等で十二万俵がふさがっています。

残りの収容能力二万俵のところへ、本年の予約として六万四千俵供出予想六万八千俵が見込まれているところから、新米を貯蔵するスペースにそこ欠く状態です。

現在、貯蔵見込みがついているのは、倉庫新築中の現原農協だけで、このころ集荷業者はどれも余裕がなく悩みのタネとなっています。

社会教育の高ように

二月に婦人議会ひらく

来年二月に婦人議會をひらくことがきまりました。

教育委員会では、ことしの社会教育事業のひとつとして婦人議会を実施することを予定していましたが、その実施計画が、このほどまとまりました。この計画によると、婦人議会に参加の婦人議員は全部で二二名で、これの婦人

は、事務局となる教育委員会や婦人会地区会長、農協婦人部長PTA会などで十分に協議し、広い範囲の中から、各地区四名づつ（玉造は六名）を選出したものです。

二月に行なわれる本議会に先立ち学習会を開き、地方自治、町政の概要、議会のすすめ方などを習得し、それを身につけた上で本議会のぞむことになっていきます。

婦人議会は、町のご婦人がたに町政のしくみなど勉強をしていただいて、町政と婦人たちのむすびつきを高めることを主な目的として実施するものです。昨年、第一回の青年議会を開き、大変好評を得たので、本年は、婦人の立場からの活発な意見がきかれるものと期待がよせられています。

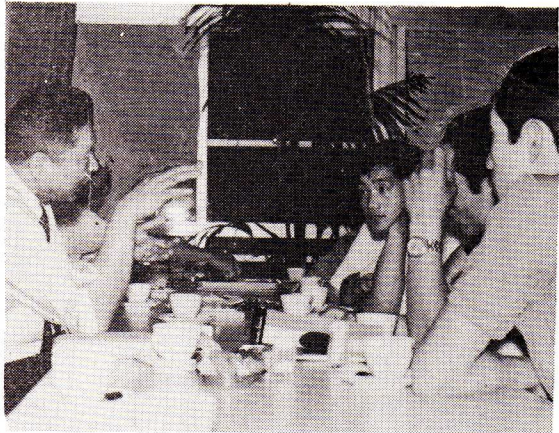
県外研修で大きい成果

青年团

もっと細かいことでの話ができ、いい思い出です」「無酒、規制きつ煙の規律ある団体生活のよさを感じるのは今の年代がいいのでしょうね」「直立不動で国旗を見つめ

「農業変かんについての心がま
ているか」青年たちと町長いつ

研修旅行が有意義であったことを物語っています。



ことし、この検診をうけた赤ちゃんとやんは百六十二人になりますが、毎年、この中から町の一健康優良なぐいしします。

得たので、本年は、婦人の立場からの活発な意見がきかれるものと期待がよせられています。

